

同和問題啓発映画



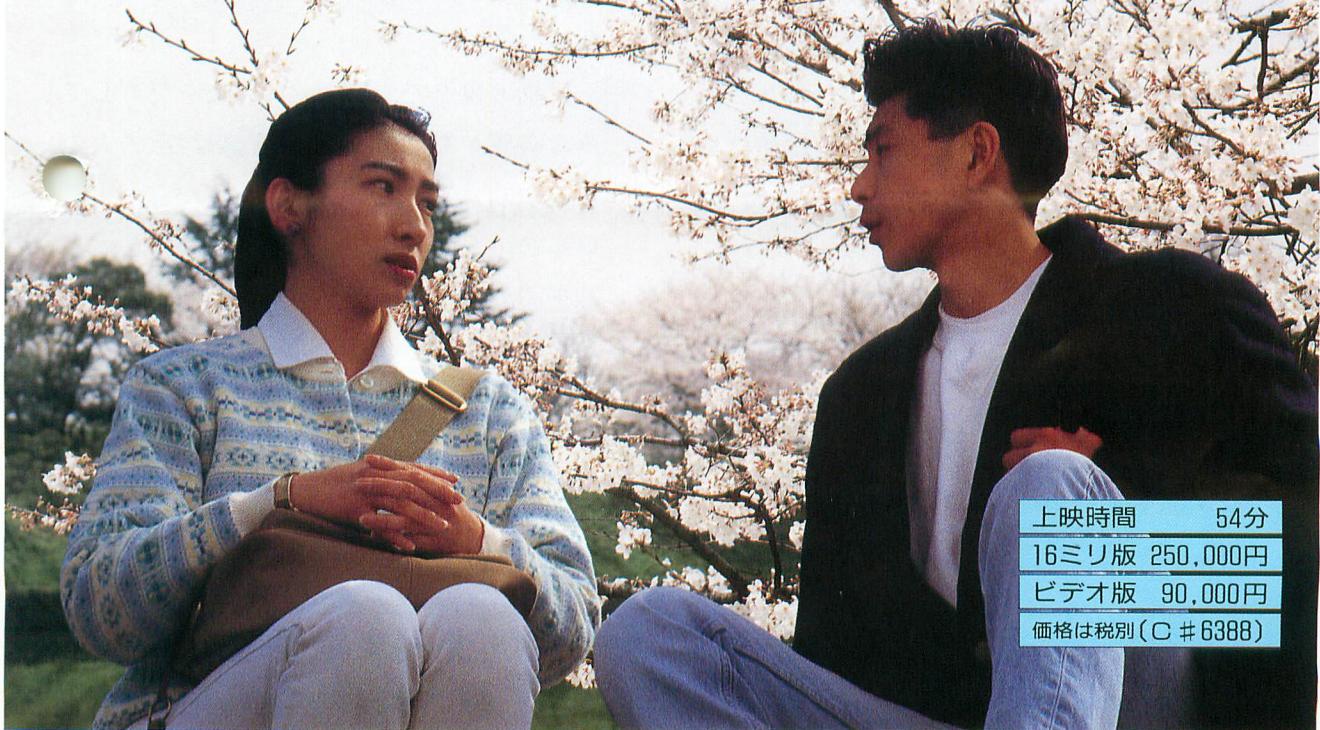
けがれと差別意識

企画／三重県

制作／東映株式会社

「けがれと差別意識」差別を生む日本人の精神構造とは? ……その核心に迫ります。
また、芸能や庭園造りをはじめ、日本を代表する数々の芸術を生んだのはどういう人たちであったのか?

その歴史を見つめ直し、差別することの矛盾を明らかにします。



上映時間 54分

16ミリ版 250,000円

ビデオ版 90,000円

価格は税別(C#6388)



東映株式会社 教育映像営業部

〒104 東京都中央区京橋2-4-12 ☎03-3272-5191 FAX.03-3273-7949

作品の内容

- ◎ 差別はいけないことだとだれもが言う。
では、なぜ、差別事象がなくならないのだろうか？ 結婚となると、やはり、こだわる人が、まだ多い。なにかきっかけがあると差別的な言動になって現れたりする。なぜだろうか？
- 私たち日本人の心の底には「けがれ」を忌むといった、旧い、間違った意識が、今もなお、根強く生き続けてはいないだろうか？
- ◎ 「けがれ」は、神道や仏教をはじめとする様々な宗教の移り変わりの中で、「清浄」に反するものとして日本人の精神構造に強い影響を与え、中世はもとより、近世賤民への差別を生む意識ともなった。
- ◎ 古くから皇室の祖神をまつり、明治以降は神国思想と結び付き、国民の氏神とされていた伊勢神宮。江戸時代、参拝するのに宮川や二見浦の夫婦岩で「みそぎ」が行われ、生理中の女性や賤民は「仮屋橋」という特別な橋を渡らされ、死とかかわりの深い僧尼は決められた拝所より先へは進めなかった。日蓮や他阿上人、芭蕉も例外ではない。産穢、死穢を忌み、触穢への恐れは世間にも広まり、賤民を泊めた二見浦の旅籠屋が刑罰を受けるという事件まで起きている。
- ◎ 神宮では『皮革は「けがれ」から使用していない』『いや、衣服の飾りや紐に革を用いているではないか』と問答があったこ

とが、江戸時代の書物「毎事問」に記されている。神宝である「錦御履」「御鞆」「御鞍」いずれも、皮革が用いられている。神事や祭礼に欠かせない太鼓も皮革が用いられており、「けがれ」であれば、神事や祭りの場に太鼓は存在しないわけである。矛盾もはなはだしい。

◎ 参宮客の精進落として知られる古市には大道芸が栄え、評判の高い「お杉・お玉」の唄が「説教節」のもとになったと言われる。「ササラ」で芸をする徒もいて、観阿弥の謡曲「自然居士」や世阿弥の「逢坂物狂」に登場する蟬丸も「ササラ」を摺り、舞をまっている。芝居小屋も建ち「伊勢歌舞伎」として知られたが、歌舞伎は元来「河原者」が創造したもの。京都の銀閣寺庭園、竜安寺の石庭なども「山水河原者」の手になるもので、日本の古典芸能や作庭は低い身分とされた人達が生み出している。それを高く評価できないと言うのであれば、それこそ「けがれ」意識からくるものかも知れない。

- ◎ 民衆の視点で、科学的に歴史を見直してみる必要がある。「けがれ」意識は、その人の心の中でつくられるものであるから、正しいものの見方・考え方を身につけ、人権意識を高めていくことが、部落差別をはじめ、あらゆる差別をなくしていくことになる。

スタッフ

プロデューサー	山上 晃	撮影	岩瀬 弘
脚本	大西竹二郎	照明	田久保 剛
監督		音楽	長沢 勝俊
		録音	中山 隆匡

●お買い上げ

関東営業所	東京都中央区京橋2-4-12	〒104 03-3272-5191
新潟出張所	新潟市東堀前通り六番町	〒951 025-222-3091
関西営業所	大阪市北区曾根崎新地1-13-22	〒530 06-345-9026
広島出張所	広島市中区国泰寺町1-5-31	〒730 082-249-3930
高松出張所	高松市本町11-7	〒760 0878-51-3766
中部営業所	名古屋市中区錦3-24-3	〒460 052-971-0923
九州営業所	福岡市博多区博多駅中央街5-12	〒812 092-473-8541
東北営業所	仙台市青葉区二日町13-26-305	〒980 022-222-7613
北海道営業所	札幌市中央区南一条西7-4	〒060 011-231-1439